令和４年度学校だより

# 善誘館 No.１１

甲府市立善誘館小学校　校長室

校　訓　「善行・勤勉・体育」
学校教育目標
○　思いやる心をもつ子
○　よく考え工夫する子
○　元気でたくましい子

２０２３．１．２３

## 一陽来復（いちようらいふく）～卯年を飛躍の年に～

新しい年，「癸（みずのと）卯（うさぎ）」年を迎えました。皆様お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

私の今年の年賀状には，「謹賀新年」などではなく，「一陽来復」を用いました。令和４年も，新型コロナウイルス感染症拡大や，豪雨による激甚災害など，心の重い一年でした。「一陽来復」とは，「冬が終わって春が来ること」，「悪いことが続いた後で幸運に向かうこと」の意味があります。

さて，2023年・令和５年がスタートしました。穏やかな天気に恵まれた一年の始まりでした。今年が，お正月のような穏やかな一年であることを願っています。ここ３年間，「新型コロナウイルス感染症」対策のために多くの時間を費やした年でした。年が明けてからも，「第８波」の大きなうねりが気がかりです。「新型オミクロン株(XBB.1.5)」の日本国内への感染の話題も聞かれるようになりました。引き続き学校では「感染症防止マニュアル」を参照しながら，「命を守る合い言葉　マスク・手洗い・間を開ける」の励行など，子供たちの安全・安心について取り組みを進めていきます。

子供たちは，１４日間の楽しい冬休みを終え，気持ちを新たに登校してきました。３学期は，１～４年生５１日間，５年生５２日，６年生５０日間という短い期間ですが，次の年度に向けて備える期間でもあり，卒業式を筆頭に大切な行事も控えています。冬休みの友の中にある「新しい年の抱負」の中にも，「勉強を頑張りたい」「友達と仲良くしたい」「全校のみんなのお手本になるようにしたい」「善誘館小学校のバトンを，しっかり受け取りたい」など，３学期に向けて思いが書かれていることでしょう。**『一年の計は元旦にあり』**といわれるとおり，一人一人の子供たちも新年を迎えるにあたってそれぞれ『こんな一年にしたい』という希望をもっています。善誘館小学校の子供たちみんなが，新しいことに挑戦し今までの自分とはちょっと違う新しい自分に変えていく，そんな一年にしていってほしいと思っています。学校も，感染症の状況を適切に判断しながら「どのような工夫をしたら，何ができるか」ということを考えながら進めていきます。各御家庭へも御理解をいただかなければならない場面が多々あると思います。よろしく御協力ください。

## ☆令和５年度の児童会役員が決まりました☆

児童会活動が，今年も６年生を中心として活発に展開されました。マスク越しでしたが頑張ったあいさつ運動，ゲームや運動に親しみ絆を深めた縦割り班活動。毎月の生活目標を決め各学級の取組成果を代表委員会で発表し合いました。どの活動においても，友達と協力する姿と仲良く交流する様子が多く見られました。このような活動をさらに活発にするために，その推進役となる児童会本部役員を決める選挙を行いました。各学級での話し合いを受けて立候補者が決まり，学級が一つになって，学級訪問や選挙運動を行いました。責任者は，立候補者の人柄や良いところをアピールし，立候補者は，自分がどういう児童会を目指していきたいのか，自分の言葉でしっかりと伝えることができました。１月２０日（金）に立会演説会を，その後，投開票を行い，来年度の新役員が決定しました。児童会役員選挙のために，選挙管理委員の子供たちは３学期の始めから活動を開始し，演説会，投票，開票から当選証書授与までの仕事に責任を持って活動していました。また，立候補者の責任者となった子供たちは選挙運動の中心となり，積極的に学級をまとめ，折からの寒さの中，様々な選挙運動に取り組んでいました。皆さん，ありがとうございました。

## ～校長雑感～　※社会の進歩と私たちの生活

　現代社会は高度情報化社会，国際化社会等の様々な呼び方をされています。今日までの進歩の歴史は，科学技術の進歩の歴史と言ってもよいかもしれません。２５０年以上も前の蒸気機関の発明は，人間の行動範囲を飛躍的に広げました。蒸気機関は人々を遠くへ運ぶ汽船や列車をつくり出しました。人々は，それまでよりもずっと短い時間で長い距離を移動することができるようになりました。そして，電気の発明により夜が昼間のようになり，人々は２４時間行動することが可能になりました。

　今の私たちの生活を見ますと，私が子供の頃に比べると大きく変わってきています。私の古い記憶をたどって，子供の頃の様子について覚えていることを具体的にいくつか書いてみます。きっと，子供たちからは，「ふる～い！」「昭和ですね。」「えーっ，何それ？」と言われそうですが。

① お風呂沸かしは薪で行う。（しかも，五右衛門〈ごえもん〉風呂）
② お風呂とトイレは別棟のため家から一端出て用をたしていた。（夜のトイレに行くのは怖かったです。また，冬は湯上がりが大変寒かったです）
③ 次の日に着る服は枕元にたたんで，置いておく。（戦時中の名残かもしれませんが，祖父母にしつけられていました）
④ 洗濯機には脱水機能が付いていないので，洗濯機に付いていた２つのゴムローラーをハンドルで回し，洗濯物をはさんで水分をしぼった。（ゴムローラーを回すと衣類が，ほぼ平たくなって出てきました）
⑤ テレビは白黒で，NHK２局の他に民放１局しか映らなかった。（スイッチ ON にしてから映るまでに１分近く待ったような記憶があります。）
⑥ 馬と牛を飼っていました（朝早く〈４時頃〉餌を与えていたのを覚えています。我が家の馬は，信玄公まつりに二十四将〈誰かは忘れましたが〉の愛馬としても出演しました）　などなど

　以上が昭和４０年代中半頃（半世紀程前）の記憶の一部です。これらだけでも，現代とはかけ離れた生活だったということがおわかりいただけるでしょう。世の中が日進月歩，時代が進むと共に便利な生活を送ることができるようになってきました。また，遠く感じていた外国も身近に感じられるようになりました。しかし，人として大切なことを忘れていったり，便利なものに頼りすぎたりしたとき，新たな課題や問題が発生することが危惧されます。**「故き（ふるき）を温ね（たずね）新しきを知る」**の言葉の通り，子供たちにも昔のことや古い事柄にふれながら，新しい技術・知識を身につけたり新たな発見をしたりしていってほしいと思います。そのためにも私たち大人の責任は大きいものがあります。そのような意味からも，機会ある毎に親や祖父母，地域の方々で少しだけ古い話を子供たちにしていくことも大切なことだと思います。

　本校では，３年生が社会科「かわる道具とくらし」の単元で「昔の道具」について学びを深めます。

## ～～～～～～～～～～～ 学校生活の様子より ～～～～～～～～～～～

### ★３学期始業式（１月１０日）

　１月１０日（火）に３学期の始業式を感染予防のためリモートで行いました。

　１４日間の有意義な冬休みを過ごし，全校児童が元気に登校してきました。一日一日を大切にし，学習面・生活面共に，次の一つ上の学年に向けて，前進してほしいと思います。

　新年を迎えた頃から，新型コロナウイルス（新オミクロン株(XBB.1.5)）が猛威を振るっています。①マスクをすること。②石鹸を使ってしっかり手を洗うこと。③密集しないこと。④食事は前を向いて静かに食べること。をみんなで守り，３学期も新型コロナウイルスや感染症を吹き飛ばしていきましょう！

### ★書きぞめ大会

　２学期の後半から練習を始め，冬休みにも一生懸命に練習し，学年ごとにその成果を発揮する「書き初め大会」を実施しました。

　課題は，１年生：硬筆「ほし」，２年生：硬筆「きぼう」，３年生：毛筆「つき」，４年生：毛筆「天空」，５年生：毛筆「花さく町」，６年生：毛筆「平和な国」です。

　どの学年も集中して頑張ったので，良い作品がたくさん仕上がりました!(^^)!